

図書館報

第1号

2012年3月7日 発行
千葉県立松戸向陽高等学校
図書委員会

〒270-2223
千葉県松戸市秋山682

佐久間校長先生に インタビュー

今回は、松戸向陽高校になって最初の『図書館報』ということで、委員会活動に理解があり、応援してくださっている佐久間校長先生に、図書館や本のことについてインタビューしました。

学生の頃に読んでいた本のジャンルについて教えてください。

——大学生の頃、古典文学などの勉学に関するものが多かったです。高校生の頃は、星新一著『ポッコちゃん』などをよく読んでいました。

今どのようなジャンルの本を読みますか？

——東野圭吾などの軽いミステリー系の小説や科学雑誌などを最近よく読みます。

日本の文化だと思う作品はありますか？

——『万葉集』や『今昔物語集』等の歌集や説話は日本の文化といえるものだと思います。ほかに、清少納言『枕草子』などとても誇れる作品だと思います。

漫画は読みますか？

——今は、あまり読みませんが、高校時代は『週刊マーガレット』等を読んでいました。池田理代子著『ベルサイユのばら』や美内すずえ著『ガラスの仮面』などはよく読みました。

校長先生の心に残った一冊を教えてください。

——司馬遼『史記』という本です。内容は、不正に走ろうとする王に対して身を挺して止めようとする家臣の話や策士同士の腹黒い戦いなど、とても面白い話が多く、生徒に授業で教えたいくらい心に残っています。

生徒に読んで欲しい絵本はありますか？

——たくさんさんの絵本を読んでほしいです。エリック・カール作『はらぺこあおむし』等、なんでもいいので、絵本を読んでもらいたいです。絵本は、大人になって読んでも面白く学べることもたくさんあります。向陽図書館にも絵本がたくさんあるので、生徒のみなさんぜひ向陽図書館を利用してください。

向陽図書館を利用する生徒に望むことはありますか？

——気楽に図書館へ行って、本に触れてほしい。好きな時に、本を借りて読める環境がどんなに素敵か知っていてほしいです。

向陽高校の図書館に校長として、望むことはありますか？

——今のままで十分だと思います。図書館でできることは、ほとんどしているのではないかと思います。向陽高校の図書館は他と比べてもすごいと思います。これは、大川先生のおかげだと思います。

図書館を利用する立場としては、何か望むことはありますか？

——本校の図書館は狭いので、仕切り等個人用スペースや、もう一つ部屋があればいいなと思います。そうすれば、テスト期間等も

一人一人が集中して勉強できる良い環境が出来上がるのではないかと思います。

今年の図書委員会は、施設見学・選書研修会のほか、文化祭では、しかけ入り紙芝居を作りました。これからの図書委員会活動に期待することはありますか？

——学校全体で、本を読む習慣があるといいですね。クラスで学級文庫や絵本を読む時間を作れば素晴らしいと思います。それを図書委員会が中心になって働きかけてくれるといいと思います。

今年の図書委員会は、掲示に力を入れて、季節の展示を行ったのですが、掲示物で取り上げてほしい題材等がありますか？

——季節の掲示はともいいと思います。そういうものがあると、学校の雰囲気良くなるように感じます。これからも期待しています。

校長先生、お忙しい中ありがとうございました。

(取材 図書委員本部会)



第六地区 図書委員研修会の感想

講演会「リーダーシップを

発揮するコミュニケーション術」

二年 Uさん

この研修会は毎年一回行われ、他校の図書委員や本への関心を深めることのできる絶好の機会です。

今回は浦安高校へ行き、心理カウンセラー前田京子さんのお話を聞きました。

互いの意見を尊重し合い認め合うことが、人としてどんなに大事か。言葉は人の心がつくりだしたものであるから、人の心を動かさないわけがない。そう考えると「コミュニケーションで全てが可能になる」という定義も理解できました。



リーダーとは、二十世紀の段階で

は威厳のある重々しい人というイメージですが、現在の二十一世紀では「場を作る人」「機会を作る人」と定義すると先生は言いました。命令するだけじゃ信頼も得られない

し、一方的な自己主張では、人の心を動かすことはできないということです。そのためには日頃からのコ

ミュニケーションやあいさつという基本的な言葉のキャッチボールが大切なんだと改めて考えさせられました。また、自分の気持ちを表現するために、多くの言葉を教えてくれる本は、私達にとって大切なパートナーであるというのもよくわかりました。

図書館・博物館見学

二年 Mさん

私達は昼食の後「浦安市立中央図書館」を見学しに行きました。係の方がいろいろなブースについて説明して下さり、中央図書館だけで約七十二万冊の蔵書があると知りま

した。サービスマンとしても充実

しています。ハンディキャップのある方の家に本の宅配をしたり、対面朗読をしたりして、どんな人でも安心して利用できる工夫がされていました。カフェもあり、おちつける作り

でした。次に、図書館の隣にある「浦安市郷土博物館」に行きました。ここはさまざまな昔の生活が体験できる、市民参加の体験型博物館です。外には、昔の浦安のまちが再現してあり、建物の中に入ったり、水に浮かべた「べカ舟」に乗ったりもできます。なつかしいおもちゃで遊ぶこともできました。興味がある人は、ぜひ行ってみてください。



平成二十三年度

図書委員会活動のまとめ

四月……委員会発足

新入生対象図書館オリエンテーション

六月……第一回「絵本の読み聞かせ講習会」

(講師 県立中央図書館司書 平塚明子氏)

七月……夏休み中の開館

蔵書点検

九月……文化祭参加

(展示発表「わたしのワンピース」)

十月……施設見学および選書研修会

(東京ブックセンター)

十一月……第六地区図書委員研修会

(会場 浦安高校ほか)

十二月……クリスマスフェアの実施

『図書館報』発行準備開始

三月……『図書館報』第一号発行

*毎月一回、季節の掲示物作成

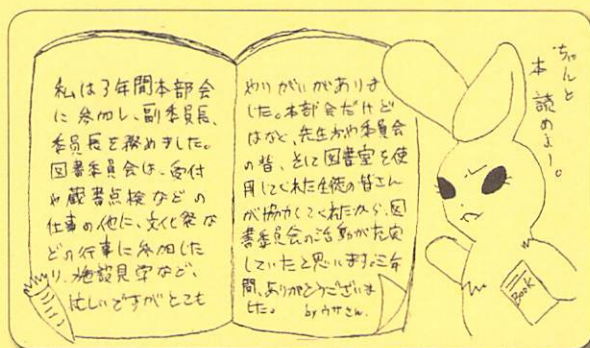
(左図は、平成二十四年一月の掲示物)



※毎月一回『向陽としょかん通信』発行

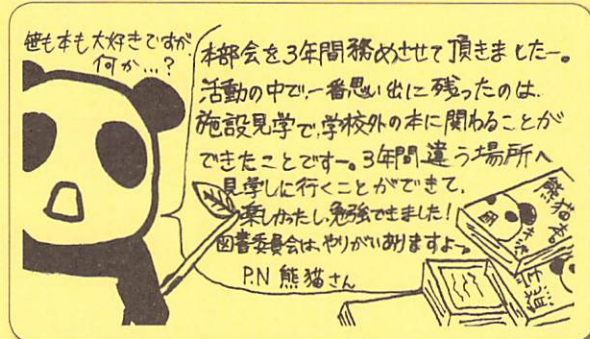
※『雑誌の付録あげます会』四回実施

卒業生からひとこと



図書委員会の本部会を3年間継続して
自分も本を借りて読んだり、当番の仕事を行い、
図書館の施設見学したり、蔵書点検をしている
間に、「こんな本もあるのか」と思ったりなど
色々あって、少しでも本に興味を持てました。
図書委員会で活動して本当に良かったと思います。

by 佐藤



お仕事は

これが余のメダだ...

やりがいあるよ

頑張れよ。

by 沼田

図書館関係

統合準備作業の記録

二〇〇七年度

- ・県内統合校の司書から情報収集および研修
- ・松戸秋山高校図書館の蔵書整理等開始

二〇〇八年度

- ・松戸矢切高校司書と打ち合わせおよび情報交換(松戸秋山高校へ移動する図書の見直し、書架等の備品の選択、図書館利用規程や統合後に一緒になる新入生のID番号の付け方等、方針的なこと、実務的なことについて、何度も確認や打ち合わせを行う。これは新校になった際、生徒が混乱しないようにするためであり、図書館は新校がスタートする四月には開館できるように準備したいという計画によるもの)

二〇〇九年度

- ・松戸秋山高校図書館内の机等の備品整理および第一次レイアウト変更
- ・松戸秋山高校図書館の蔵書整理(移動した図書がすぐ配架できるよう、書架のスペース作り)
- ・両校で異なる利用規程を新校の規程に統一する(松戸秋山、松戸矢切の両校)
- ・移動する図書(移管図書)の絞り込み

二〇一〇年度

- ・移管図書約三千冊(段ボール箱、約数十箱分)の一時保管用の棚を設置
- ・移管図書の搬入【冬休み】
- ・データ入力、バーコード張り替え等の受入作業【二月、三月】
- ・松戸矢切高校から書架等の大型備品の搬入および第二次レイアウト変更【三月十三日】
- ・移管図書の配架作業【三月十四日〜春休み】
- ・生徒ID番号クラス替え作業および職員ID番号作り【春休み】

二〇一一年度

- ・松戸向陽高校スタートと同時に「開館」

おおまかではありますが、以上が統合に向けた図書館関係の準備の記録です。

新校スタートと同時に「開館」という目標は立てたものの、経験がない作業だったため、目標のとおりには開館まで漕ぎ着けるのか不安でした。しかし、両校に図書館専任の司書がいたので、早い段階から先を見据えた打ち合わせや情報交換ができたことは大きく、準備や作業をスムーズに行うことができました。また、冬休み中に搬入された移管図書の受入作業が、三ヶ月間という短期間で終了できたのは、図書委員や有志のボランティア生徒が積極的にバーコードの張り替え作業等協力してくれたおかげです。まだ統合に伴う作業が若干残っていますが、継続して進めていきたいと考えています。

東北地方太平洋沖地震の被害について

松戸矢切高校から書架を搬入する日となっていた、三月十三日の二日前に、東北地方太平洋沖地震が起きました。図書館内も写真のように書架から本が大量に落ちる被害がありました。



余震等で精神的に落ち着かないなか、搬入日(十三日)までに落下した本を戻す作業、図書館内の整理整頓を行い、予定どおり書架の搬入、配置場所決め等を行いました。生徒の安全を考え、地震の被害が大きかった書架の連結固定と床止め工事を行いました。

(司書 大川信子)

向陽としょかん読書まつり

『向陽としょかん読書まつり』に寄せられた「私のおすすめ本」を一部紹介します。図書館前の廊下に『おすすめ本』を葉っぱの形にして紹介していますので、こちらもぜひ見てください。

ホッネがわかる心理テスト

(前田京子)
自己分析したい人、心理学に興味のある人におすすめです！

戦国自衛隊1549

(福井晴敏)

四六〇年の時を超え、西暦一五四九年の戦国時代に自衛隊がタイムスリップする話です。少し専門用語が出てきますが、時代ものやアクションが好きの人にはとてもオススメです！

うちの3姉妹

(松本まりつ)

この作品はとても明るく、見ていても温かい感じがしました。なんといっても3姉妹の行動が笑えます。それと母親の子どもたちに対する愛情がとても素晴らしいと思います。

パーティミアス

(ジョナサン・ストランド)

パーティミアスは三部作で、舞台は魔法や魔術師などファンタジーの世界になっています。主人公の新人魔術師と召喚された悪魔の掛け合いがとても面白いので、ファンタジーが好きな方は是非見てください。

ティルス・オブ・シンフォニア

(矢島さくら)

原作はゲームだけど、小説として読んでもとても面白いので、ゲームが好きな人はぜひ読んでみてください。

飾れる！贈れる！かわいい花の折り紙

(山口真)

見ても、折っても楽しい本です。とにかく一度見てくれるとうれしいです。できれば一回折って欲しいです。

イチバン親切なやさしいお菓子の教科書

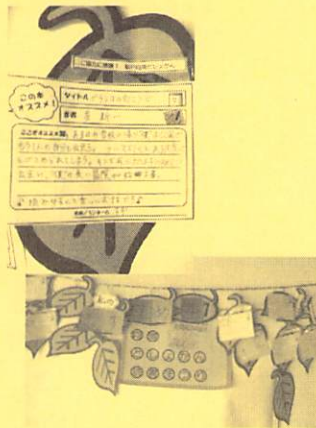
(川上文代)

一つ一つの手順が写真で載っていてわかりやすい。必要な道具や所要時間も載っていて、焦ったりしないから助かる。道具の使い方やポイントもたくさん載っていて良い！

アルケミスト

(マイケル・スコット)

《錬金術師》ニラ・フラメル他歴史上の人物が出てくる。先が気になるので、気がつくと読み終わってしまう。



平成23年度図書館利用状況

(平成23年4月6日～平成24年1月14日)

貸出冊数

生徒	1841冊	1位	260冊 (3年男子)
職員	449冊	2位	186冊 (2年女子)
他校	107冊	3位	164冊 (3年男子)
合計	2397冊	4位	105冊 (1年男子)
		5位	100冊 (2年女子)

個人別貸出ベスト5



貸出上位図書ベスト5

1位	No.6 #1 (あさのあつこ)
1位	悪ノ娘 黄のクロアテュール (悪ノP)
1位	王様ゲーム (金沢伸明)
4位	謎解きはディナーのあとで (東川篤哉)
5位	悪ノ娘 緑のヴィーゲンリート (悪ノP)
5位	王様ゲーム 終極 (金沢伸明)
5位	No.6 #8 (あさのあつこ)
5位	それは恋のはじまり 下 (みなづき未来)

編集後記

今回初めて本部会の仕事に関わらせてもらいましたが、最初はインタビュと聞いて不安だったけど、とても楽しくできてよかったです。(一年N)

本部会の仕事は初めてだったので、どうなるのか不安でしたが、校長先生のインタビューなどとても楽しくできて良かったです。(一年K)

普段お話ししない校長先生との対談は楽しく貴重な体験でした。校長先生ありがとうございました。(二年一)

図書委員会の活動はとても楽しかったです！来年も是非また図書委員やりたいと思います。(二年U)

今年の図書委員会は研修で東京ブックセンターに行ったり、地区の図書委員研修会に参加したり、普段ではできない体験を沢山やらせていただきました。来年も図書委員をやりたいと思います。(二年M)

【向陽としょかんキャラクターの紹介】

